

# 月例会のお知らせ

## 航空気象

期日：昭和49年2月22日(金) 13時～17時

会場：東京空港事務所会議室

講演発表：

- 1) 渡辺 明 (気象庁)  
Icing の定量予報 (15分)
- 2) 奥山 巖 (新東航)  
関東地方の風向別気圧, 気温, 視程, シーリング  
平均図について (15分)
- 3) 奥山 巖 (新東航)  
メソ低気圧と視程, シーリング変化との関係につ

いて (15分)

- 4) 久保 勉 (新東航)  
翌朝の最悪視程の予想について (20分)
- 5) 土田米三郎 (東航)  
羽田における南西強風時の総観解析 (20分)
- 6) 伊知地公彦 (新東航)  
小じょう乱の追跡について (20分)
- 7) 殿村 清人 (東航)  
中間規模低気圧の構造について (20分)

## 航空気象

主 題 航空気象

日 時 3月6日(水曜日) 10時

会 場 大阪国際空港ビル7階会議室

話題提供

1. 大阪空港における早朝視程の予想について  
武田 尚之 (大阪航空測候所)
2. 気象と関係がある航空法の規程  
川上 栄作 (大阪航空局)
3. 大阪空港における cross-wind について  
加藤登志明 (大阪航空測候所)

4. 低層における wind shear について  
茂木 敏夫 (全日空)
  5. Wake Turbulence について (16ミリ Cation  
wake turbulence)  
小野寺三郎 (日航)
  6. 大阪空港における特定雲高について  
堀 健二 (大阪航空測候所)
  7. 大阪～掩美線の飛行計画について  
吉川 栄一 (東亜国内)
- 連絡先 大阪航空測候所予報課 久保田利一

## 長期予報と大気大循環

主 題 長期予報と大気大循環

日 時 2月23日(土曜日) 09時30分～12時

会 場 気象庁第一会議室

研究発表

1. 久保木光照：北海道のかんばつ (25分)  
石井 英夫  
(札幌予報)

2. 田中 康夫：Available Potential Energy  
(札幌予報) の変動と高緯度の層厚変化  
の関係 (25分)
3. 和田 英夫：北半球における大循環の変  
(名古屋地 方気象台) 動と北日本の冷害予報 (25分)
4. 新井 康：日本付近の天気図の解析 (50分)  
(気研予報)

## 気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
春季シンポジウム「大規模気象現象の予測について」	昭和49年2月15日	気象学会	気象庁
航空気象月例会	〃 2月22日	〃	東京空港事務所
長期予報と大気大循環	〃 2月23日	〃	気象庁
航空気象月例会	〃 3月6日	〃	大阪国際空港ビル
北海道支部第2回研究発表会	〃 3月19日	北海道支部	北海道大学理学部
理工学における同位元素研究発表会	〃 6月17日	〃 他共催	